

ももが行くほかいどう

くいしん坊のスロー旅

vol. 67

畑の中のサウナも楽しみな

ゲストハウスのある農場の巻



火田の向うは日高山脈
最近国立公園に指定
された山々。
一番高い山が
観音様のお腹にあたる
十勝幌尻岳！



トレーラーハウスの中は
薪ストーブのある11畳お
けな空間。別棟に
キッチンがあり、自炊が
できます。

宿とサウナをオウシ
したりいふんなんどの
つながりができて
とても面白い
です。

十勝とやま曲居場
4代目の外山隆祥さん



お父さんのトレーラーハウスが宿に

今月のスロー旅は十勝へ。帯広おびひろ駅から車で約三十分、美栄町にある十勝とやま農場へ。四代目の外山隆祥とやまのりしげさんとお母さんの聖子せいこさんを訪ねました。

とやま農場で加工しているいろんな豆や小麦のぼん菓子ぼんかしは、聖子さんが前から作っていたもので、豆の風味がそのまま楽しめます。今ではとやま農場の代表的な加工品として、ステキなラベルで販売されています。

とやま農場の敷地内には、日高山脈を見渡せる場所にトレーラーハウスと新たに作った宿と、車を改造して造ったサウナスペースがあります。トレーラーハウスは二十年前に亡くなった隆祥さんのお父さんが惚れ込んで購入したもの。そのままになっていたのを二〇一四年に四男の弟が解体し、建て替えて今の姿に。サウナも同時に造ったそうです。ちなみにサウナのネーミングは聖子さんが名付けました。「ここから日高山脈を見てると観音様が横たわっているように見えて、ちょうどお腹の辺りが十勝幌尻岳になるので」。ありがたい名前のカンノンサウナです。

二〇一六年に妻の暁子あきこさんの発案で、この二つの宿とサウナを民泊マッチングサイトAirbnbエアビーアンドビーに登録してみると、農場にたくさんの方が訪れるようになりました。お父さんの残したトレーラーハウスが、農場の新しい事業に繋がって隆祥さんの視点も広がったと言います。



●文・絵／すずきもも
イラストレーター＆絵本作家。さまざまな媒体のイラストや
エッセイ、絵本の執筆などで活躍。札幌市在住。



合同会社 十勝とやま農場（カンノンサウナ・ファームインBiei&Route55）

帯広市美栄町西6線128番地（JR帯広駅より、車またはレンタカーで約30分）

TEL&FAX: 0155-60-2110 商品はネットショップから <https://www.toyama-nojo.net/>

宿泊は完全予約制（電話またはAirbnbにて）

これからの農業を考えて

とやま農場の敷地面積は約三十五ヘクタール、十勝の農場の平均より少し狭いのですが、近隣より栽培工程の一部を委託された農場や、収穫のお手伝いなど様々なことを請け負っています。「どうやっても人手不足はこれからも続くし、でも耕作地を守らなくてはならないし。その中で使えるテクノロジがあればチャレンジして行きたい」と隆祥さんは言います。たとえばドローンやGPS付きのトラクターなど、どんどんロボット化が進むものもあり、それらを使いこなしながら維持していきたいと考えているのです。

ちなみにとやま農場では太陽光発電を行い、電力の自給率は約九〇％だそうです。そして肥料なども土壌分析をこまめに行い、必要に応じて地元の有機肥料を投入しています。何かがないと作物ができないということは避けたいという隆祥さん。気候変動などもあり十年二十年後のことを考えると、テクノロジで補えることはそれに任せて、人間が考えなければならぬことに時間を使っていけたらと話します。

宿の事業を通して生まれた新たな視点で、もっといろんな人との繋がりを作りたいと考えているとやま農場。大人気の農場体験や聖子さんと暁子さんが行っている畑の教室などに、たくさんの方が参加しています。アイデア満載のとやま農場に、明るい未来の農業スタイルを感じました。